



**FRONTIER
MANAGEMENT
INC.**

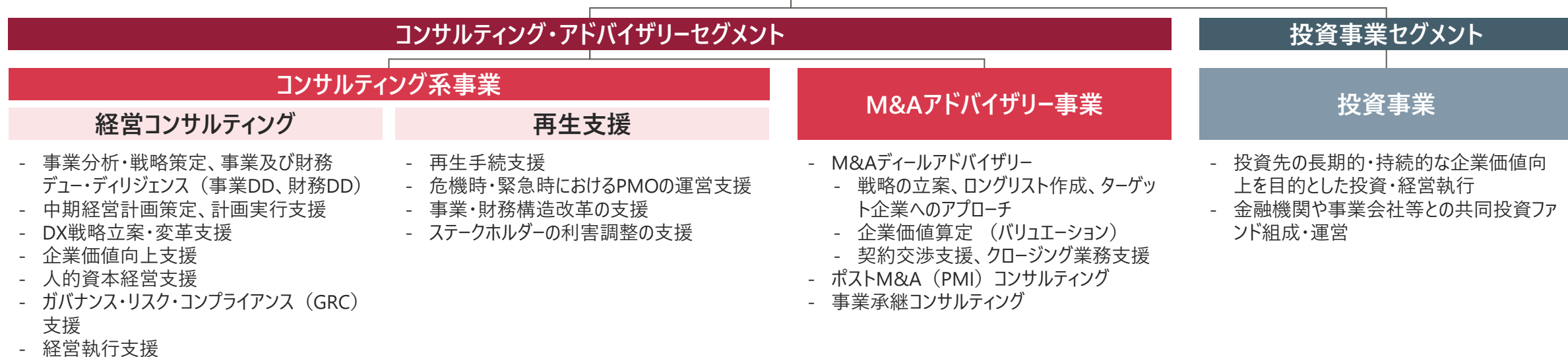
2026年12月期 第1四半期決算説明資料

2026年5月14日

フロンティア・マネジメント株式会社

フロンティア・マネジメント（FMI）について

- 当社グループは、経営コンサルティング・再生支援からなるコンサルティング系事業、M&Aアドバイザー事業、投資事業を国内外で展開。また、投資事業を行う当社子会社のフロンティア・キャピタル（以下、FCI）は、連結子会社の投資先として、模型、プラモデル、玩具等の販売を手がけるホビーリンク・ジャパンを連結子会社として有する



目次/Agenda

フロンティア・マネジメント（FMI）について

2026年12月期 第1四半期決算概要

1. 2026年12月期 第1四半期決算
 - 決算ハイライト
 - 連結決算のポイント
 - 営業損益の増減要因
 - 連結業績推移

事業別第1四半期決算概要

1. コンサルティング系事業
 - 売上高推移
2. M&Aアドバイザー事業
 - 売上高推移
3. 投資事業
 - 実績推移



**FRONTIER
MANAGEMENT
INC.**

2026年12月期 第1四半期決算概要

1. 2026年12月期 第1四半期 – 決算ハイライト –

- 今期第一四半期は、ALL連結の親会社株主に帰属する当期純利益において、前期比で増収増益となった。単体はM&Aの復調により全体の生産性も改善傾向にある（前期構造改革による規模縮小に伴い売上高は減少）。また、当期純利益は、前年に一過性費用が発生していたが、当期の費用発生は限定的である事にも起因して収益増に繋がっている

グループ
総評

- 連結売上高は3,376百万円となり、FCIの投資先のホビーリンク・ジャパンの連結子会社化によって**前期比139%の増収**
- 単体は**前年に人員適正化による固定費圧縮を完了**した上、M&A事業の業績改善が顕著になってきた他、経営コンサルティング事業においても人員縮小の一方、同事業の売上高は過去最高益を計上し、かつ組織規模も同水準にあった2023年度の四半期平均水準に達する等、**全体の生産性は改善傾向**にある。FCI連結においても、**投資先増加による収益増から赤字幅は圧縮**され、営業利益は8百万円で着地している
- 親会社株主に帰属する当期純利益は▲81百万円となるが、**前年はホビーリンク・ジャパンの取得に伴う手数料（営業外費用）等が発生**しており、**前年対比では+48百万円の増益**で着地している

事業別
実績

- **コンサルティング系事業**（経営コンサルティング事業及び再生支援事業）は売上1,493百万円（前期比73%）となり、前年同期比では規模縮小となったが、そのうちの大半を占める経営コンサルティング事業は、売上高が1,288百万円であり、過去最高益を達成した2023年度の四半期平均値（1,271百万円）と同水準に到達し、全体生産性の改善がみられるため、今後はより一層、**継続したアカウント営業強化と案件パイプライン積み上げ**によって収益性の向上を目指す
- **M&Aアドバイザリー事業**は売上486百万円（前期比146%）となり、昨年度より導入した**注力セクター及び注力案件テーマにフォーカスした体制拡充及び営業活動の成果**が発現している
- **投資事業**は、今期中に**1件の投資を完了**。投資実績の積み上げによるリテイナー報酬増等を通じて、FCI連結の黒字化に向けて堅調に進捗している

1. 2026年12月期 第1四半期 – 連結決算のポイント（ALL連結/除FCI連結） –

- 連結売上高（ALL連結）は、昨年連結化したHLJの期初からの取り込みもあり、前年同期比139%、+942百万円の実績
 ✓ コンサルティング系事業は、前年同期比73%、M&Aアドバイザリー事業は、前年同期比146%
- 営業利益は8百万円で前年同期比▲47百万円である一方、経常利益は▲33百万円で前年同期比+41百万円の改善

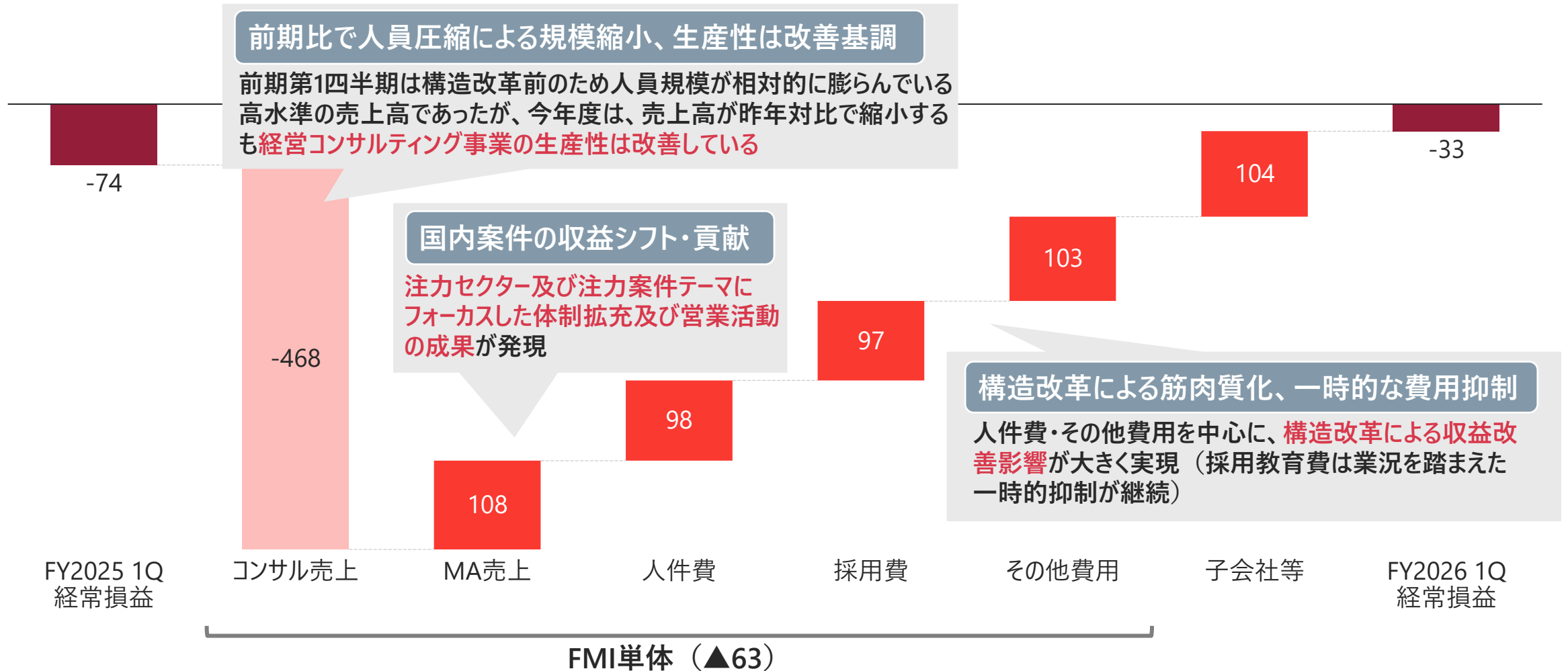
(単位：百万円)	ALL連結				除FCI連結			
	2025 / 1Q 累計実績	2026 / 1Q 累計実績	増減	前年比 (%)	2025 / 1Q 累計実績	2026 / 1Q 累計実績	増減	前年比 (%)
売上高	2,434	3,376	+942	139%	2,385	1,972	△412	83%
営業費用	2,379	3,368	+989	142%	2,197	1,879	△319	85%
外注費等	338	239	△99	71%	320	239	△81	75%
人件費	1,389	1,212	△176	87%	1,309	1,212	△96	93%
採用費	157	59	△98	38%	146	59	△87	41%
その他費用	494	1,856	+1,362	376%	421	367	△54	87%
営業損益	55	8	△47	16%	187	93	△93	50%
経常損益	△74	△33	+41	–	183	95	△88	52%
特別損益	0	0	+0	–	0	0	+0	–
税前損益	△74	△33	+41	–	183	95	△88	52%
親会社株主に帰属する当期純損益	△129	△81	+48	–	112	74	△37	67%
償却費等	22	142	+121	647%	18	23	+5	125%
EBITDA	77	151	+74	196%	205	117	△89	57%

【参考】

FMI単体営業利益	171	109	△63	64%
セレブレイン営業損益	27	△7	△34	–
Athema持分法投資損益	0		+0	–

1. 2026年12月期 第1四半期 – 経常損益の増減要因 (ALL連結) –

- 単体は前期に人員適正化による固定費圧縮を完了しており、人員数の差からコンサルティング事業の売上規模は縮小したものの、M&A事業の復調が牽引したことにより全体の生産性は改善した



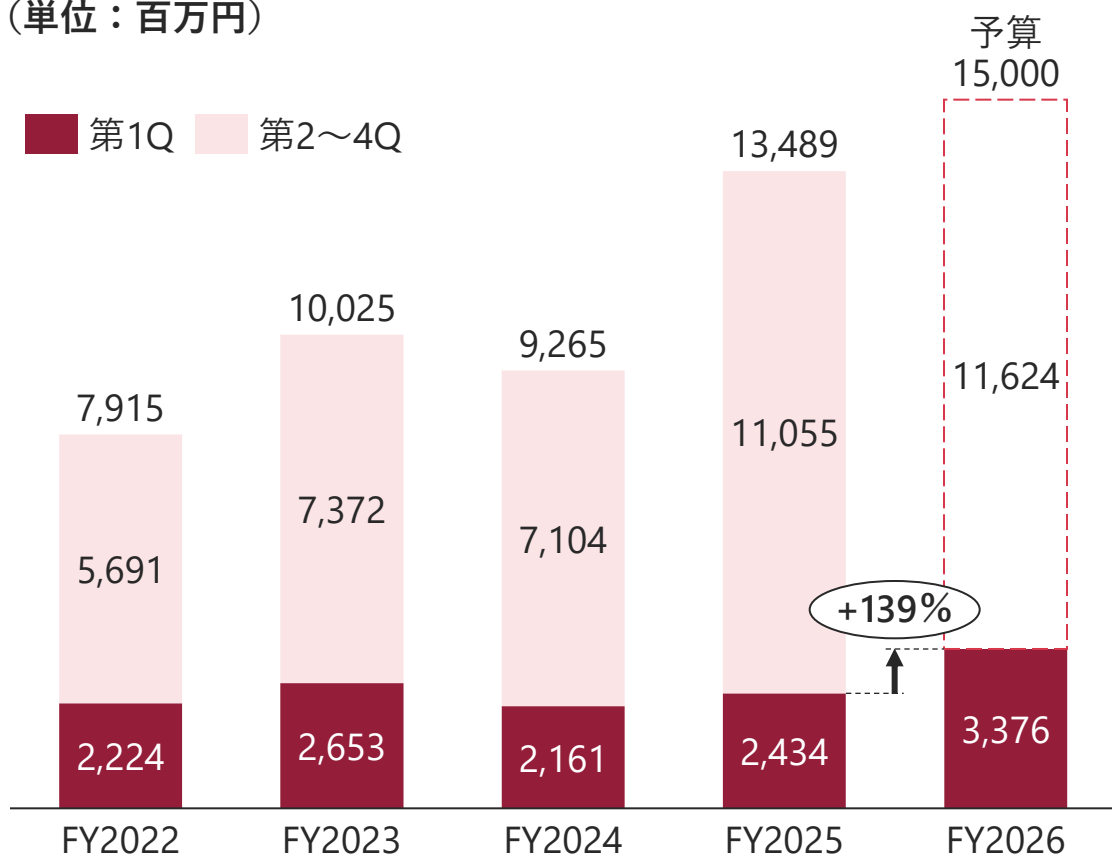
* コンサルティング売上・M&A売上に関しては、外注費を除いた売上高を対象に集計しており、他のページとは必ずしも数値が一致しない点に留意

1. 2026年12月期 第1四半期 – 連結業績推移 –

- 売上高は昨年連結化したHLJの期初からの取り込みもあり増収。営業損益は除FCI連結の影響により、前年対比で縮小。

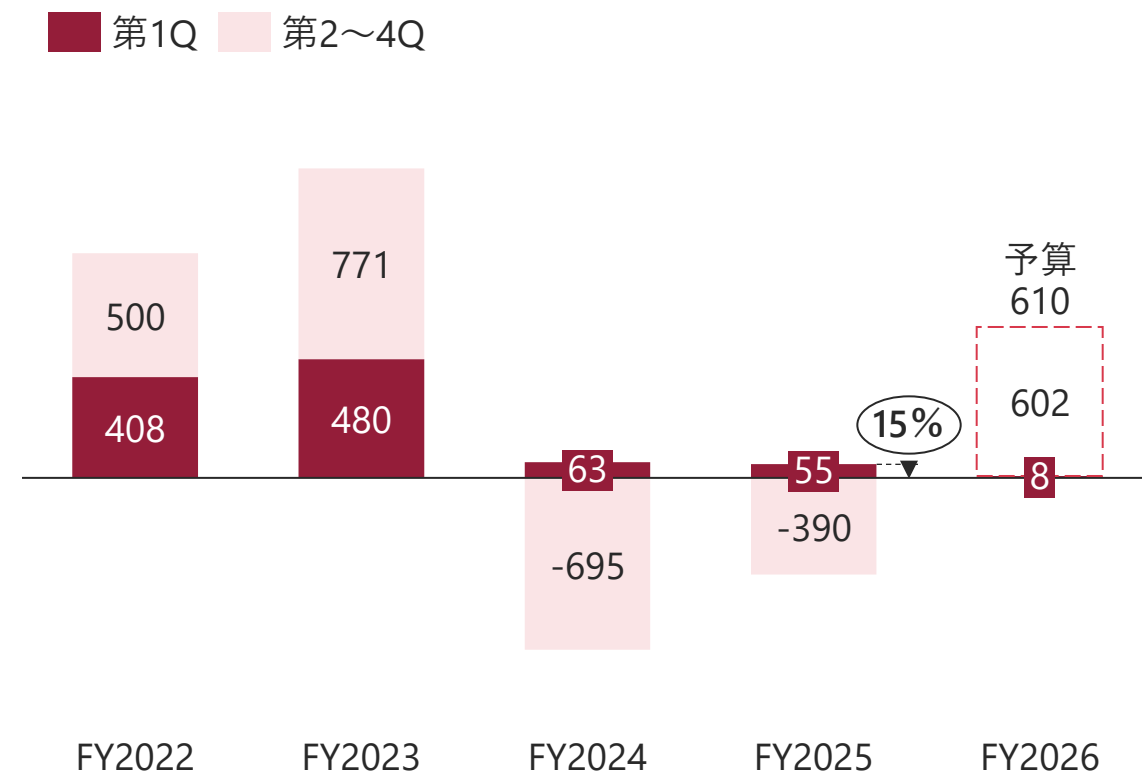
売上高

(単位：百万円)



営業損益

(単位：百万円)



(参考) 貸借対照表 (ALL連結)

- 2025年度末から現預金が前年比48%と減少した要因は、3月末の従業員への賞与支払いに伴う一時的なもの。

(単位：百万円)

	2025年度末	2026年1Q末	増減	前年比 (%)
流動資産	11,435	10,703	△732	94%
固定資産	6,997	6,840	△157	98%
繰延資産	2	1	△0	80%
資産合計	18,435	17,545	△889	95%
流動負債	3,783	3,223	△559	85%
固定負債	4,708	4,474	△234	95%
株主資本	1,458	1,386	△72	95%
その他純資産	8,485	8,460	△24	100%
負債純資産合計	18,435	17,545	△889	95%
現預金	5,323	2,557	△2,766	48%
有利子負債	5,399	5,186	△212	96%
Net Debt	75	2,629	+2,554	3,494%



**FRONTIER
MANAGEMENT
INC.**

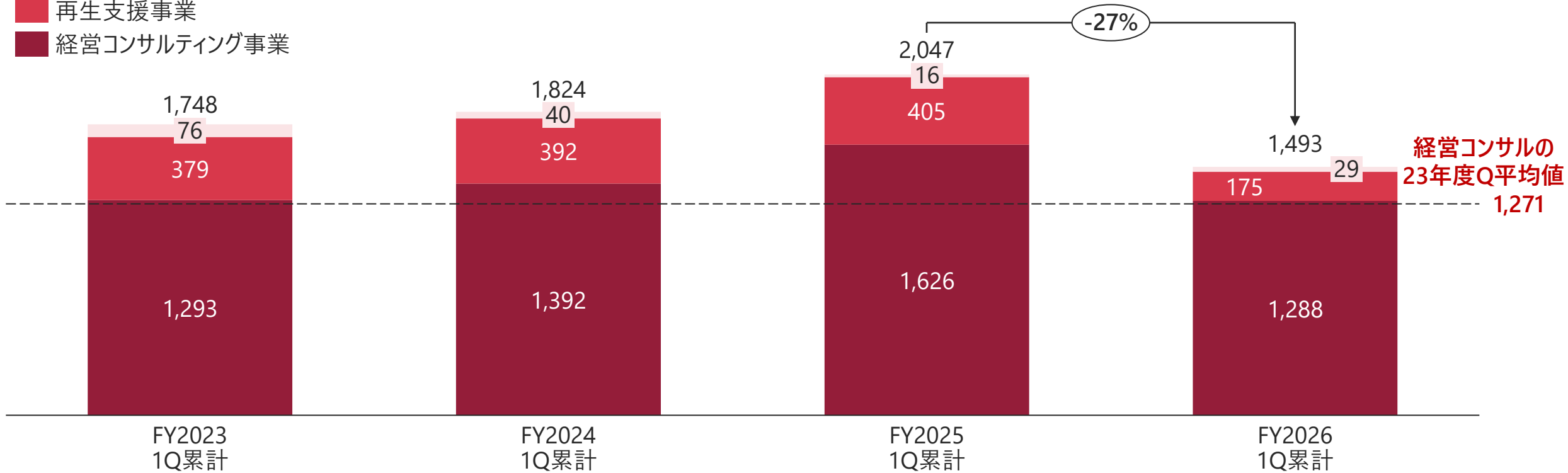
事業別実績

1. コンサルティング系事業 – 売上高推移（第1四半期累計） –

- 本第1四半期は人員適正化による規模縮小に加え、外部環境の影響により再生件数が限定的に推移し、コンサルティング系の売上高は前年同期比73%の着地。ただし、売上高の大半を占める経営コンサルティング事業は、過去人員規模が同程度である2023年度(※2023年度は当社最高益であった決算期)の四半期平均と同水準に達し、生産性の改善も推進中

(単位：百万円)

- その他事業
- 再生支援事業
- 経営コンサルティング事業

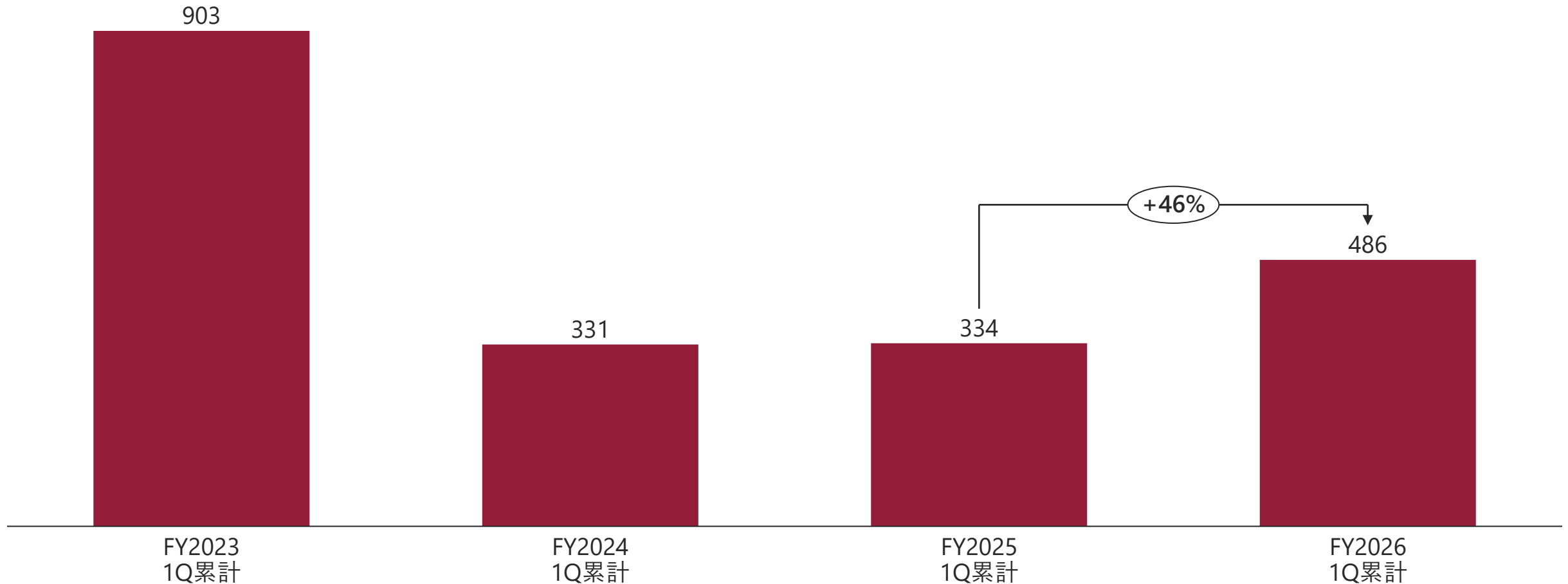


* セレブレインの売上高を含む

2. M&Aアドバイザー事業 – 売上高推移（第1四半期） –

- 本第1四半期のM&Aアドバイザー事業の売上高は、昨年度より導入した注力セクター及び注力案件テーマにフォーカスした体制拡充及び営業活動の成果が徐々に発現した影響により、前年同期比+46%の水準で着地となった。

（単位：百万円）

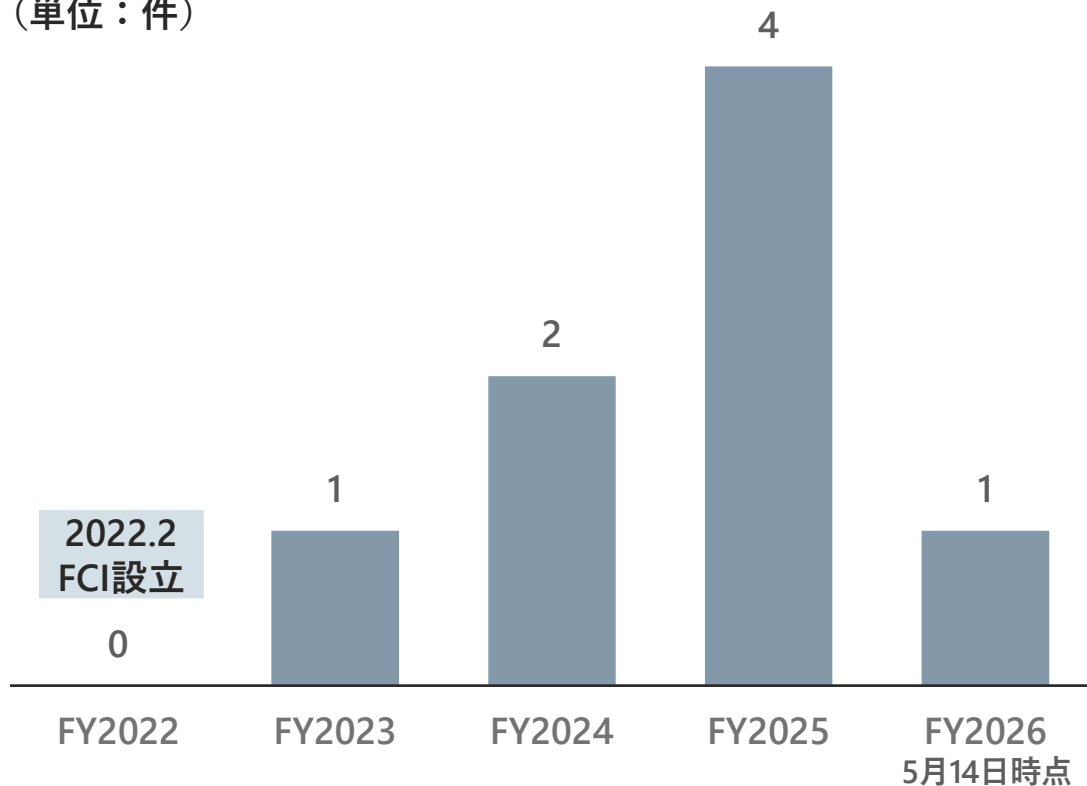


3. 投資事業 — 実績推移 —

- 2022年に投資事業を開始以降、2025年度の4件を含め**累計で8件**の出資を実行。また、2026年2月には株式会社ティ・エ・イスとの資本業務提携を発表。
- 今後に向けては、契約締結済で投資実行待ちの案件が**1件**、独占交渉権を取得し、デューデリジェンス等を進行中の案件が**3件**と、パイプラインは順調に拡大。

出資件数推移

(単位：件)



これまでの出資案件

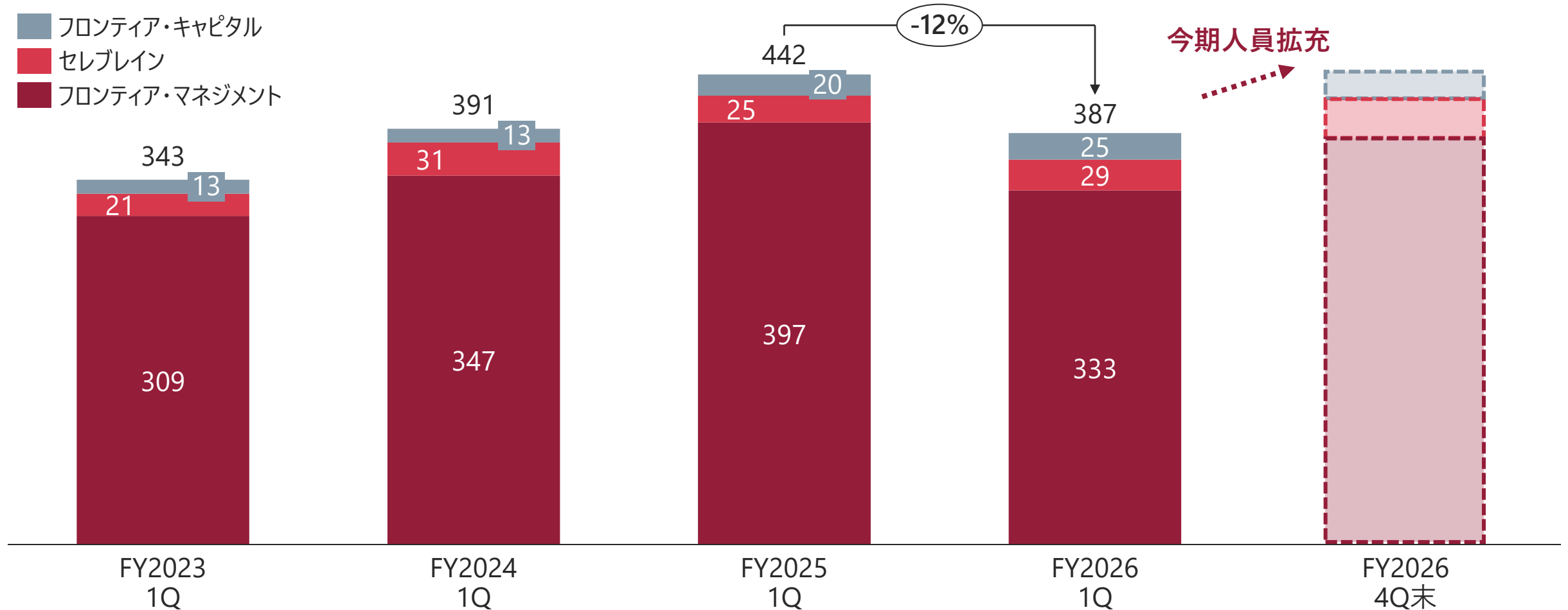
出資先社名	事業内容	支援開始時期等
(株)ZOO LABO	- 歯科技工物作製 - CAD/CAMを用いた歯科技工業	2023年12月 2025年12月Exit済
三立土建(株)	- 総合建設業（土木・建築一式請負） - 土木・建築工事の企画設計及び施工の監督等	2024年3月
医療法人社団 弘快会	- 歯科医院の運営	2024年12月
(株)ホビーリンク・ジャパン	- 模型、プラモデル、玩具等の販売	2025年2月
医療法人社団 東京ハート会	- 内科及び小児科クリニックの運営	2025年3月
(株)チームバリスタ	- 飲食店の運営及びECサイトによる飲食物の 販売	2025年6月
医療法人社団 ピュアホワイト会	- 歯科医院の運営	2025年9月
(株)ティ・エ・イス	- 訪日旅行者に対するツアーの企画、手配等	2026年2月

(参考) 人員数の推移 (1Q末時点)

- 前年は構造改革前の体制であり、本第1四半期末時点の人員数は人員適正化後で、前年同期比88%の387人。改めて、採用活動の強化等を通じて人員拡充に向けた取り組みを継続。

(単位：人)

- フロンティア・キャピタル
- セレブレイン
- フロンティア・マネジメント



* ホビーリンク・ジャパンの人員数は除く。

共に走る。未来を拓く。

Opening Up Your Frontier



FRONTIER
MANAGEMENT
INC.